

第50回 日韓経済人会議

THE 50th JAPAN -KOREA BUSINESS CONFERENCE

2018. 5. 15~16 TOKYO, JAPAN

共同声明

『第50回日韓経済人会議』とともに喜び、経済・人材・文化交流を通じて次の50年を創造しよう！

第50回日韓経済人会議は2018年5月15日と16日の両日にわたり日本国 東京に於いて開催され、日本側からは高円宮妃久子殿下、安倍晋三内閣総理大臣のご臨席を仰ぎ、佐々木幹夫団長以下188名、韓国側からは李洙勲駐日本国特命全権大使、金鉦団長以下114名が参加した。

この記念すべき会議の開会式において、高円宮妃久子殿下よりお言葉を賜り、両国政府を代表して安倍晋三内閣総理大臣、文 在寅大韓民国大統領よりご祝辞を頂戴した。

日韓両国はこれまで幾多の困難に直面してきたが、両国経済人は日韓経済人会議を1969年以来一度も中断することなく両国交互に継続開催してきた。両国経済人はここまでの歩みを万感の思いをもって振り返りつつ、50回開催に至るまでの両国先輩諸氏のご努力に最大限の敬意と謝意を表するものである。

そしてここに、両国経済人は記念すべき第50回開催とともに喜び、次の50年に向けて日韓経済協力のみならず、経済・文化・人材交流の3本柱を中心とした未来志向の日韓関係の発展の為に新たな具体的努力を重ねていくことを誓い合った。

北東アジアの安全保障に重大な懸念をもたらしていた北朝鮮を巡る問題については、南北の和解への動き、北朝鮮の核問題の解決と周辺国の安定化の拡大を大いに期待するとともに、5月9日に3年ぶりの開催となった日韓中3カ国首脳会談の成功と併せ、北東アジアの発展につながることを希望する。

一方、経済面では貿易戦争の様相を見せる保護主義への懸念、市場の変動性の高まりなどが顕著になってきている中、それに対抗するように日本をはじめとする11か国によるCPTPPや他のFTA、メガFTAによるアジア「一つの経済圏の形成」を推進するためにも日韓のより緊密な協力が必要であることを再確認し、今回の第50回日韓経済人会議において、昨年9月にソウルで開催した第49回日韓経済人会議での共同声明を踏まえ、下記事項に関して両国経済人が連携して推進していくこととした。

「激動する国際情勢下における未来志向の日韓関係発展の方向性の確認」

日韓関係の葛藤を乗り越える未来志向の関係発展と様々なアプローチからアジア「一つの経済圏形成」を目指す努力を継続する。

そして、共生と協力の21世紀の日韓関係のために日韓の潜在力を極大化することが必要であるということに認識を共にし、未来50年に向けた協会・財団の役割を強化する。

「資源・インフラ輸出等第3国における日韓協業の一層の拡大」

両国が資源開発、インフラ輸出等を通じて第3国において共同してプロジェクトを創造し、国際競争力の強化と共に、第3国の総合的社会開発へ寄与する。

また、グローバル企業として成長した対韓投資企業の成功要因を通じて見た日韓経済協力・交流拡大の必要性について認識を共にし、日韓協力の拡大を期待する。

「日本の雇用問題、韓国の就職難など両国が直面する社会課題解決への相互協力」

日本の労働力の不足と韓国の若手人材の就職難を解決するための定期的なセミナー等の開催、少子高齢化社会への対応、環境・防災対策など日韓が直面する社会課題へより積極的に対応する。

「日韓青少年の育成・交流の継続及び充実」

日韓の次世代交流の継続及び充実が次の50年を創造するという信念のもと、日韓高校生交流キャンプ・日韓学生未来会議・韓国大学生の在韓日本企業に於けるインターンシップ研修、中小企業若手経営者の交流等、幅広い分野での育成を継続する。

「平昌から東京オリンピック・パラリンピックに向けて」

平昌冬季オリンピック・パラリンピックは世界にその熱気と友情を示し、成功裏に終了した。日韓両国経済人はその熱気と友情を東京に繋げ成功に導くために相互協力し、日韓の益々の観光/スポーツ交流発展を期待する。

「両国政府への期待」

経済・人材・文化交流の一層の拡大は未来志向の両国関係発展に不可欠なものである。是非、両国政府のご理解と継続的なご支援を期待する。

次回の第51回日韓経済人会議は2019年に韓国に於いて開催することとした。

2018年 5月 16日

日本側代表団団長 佐々木幹夫
韓国側代表団団長 金 鉦